

私立大学図書館協会東地区部会研究部  
2014年度第1回運営委員・研究分科会合同会議事録

日 時：2014年5月16日（金） 15：05～17：00

場 所：早稲田大学中央図書館（早稲田キャンパス 18号館） 1階会議室

出席者：【運営委員】

阿部尚子（清泉女子大学）・坂元真澄（東京都市大学）・

吉井由希子（慶應義塾大学）・高橋晶子（早稲田大学）・鈴木直子（明治学院大学）・

佐々木俊介（桜美林大学）・山本浩二（東京農業大学）

【事務局】 齋藤雅彦・宇野直美（専修大学）

【研究分科会代表者】

①分類研究分科会 藤倉恵一（文教大学）

②パブリック・サービス研究分科会 太田潤（明星大学）

③西洋古版本研究分科会 ティムソン ジョウナス（早稲田大学）

④企画広報研究分科会 曾野正士（明治大学）

⑤和漢古典籍研究分科会 松下賢（駒澤大学）・武政朗子（中央大学）

⑥レファレンス研究分科会 鈴木学（日本女子大学）

⑦研修分科会 （専修大学）

欠席者：【運営委員】 吉田千草（明治大学）

会議に先立ち、出席者の自己紹介があった。

議事概要：

1. 研究分科会の休会・再開・廃会について

理工学研究分科会と情報リテラシー教育研究分科会の2分科会の廃会とレファレンス研究分科会の再開が報告された。

2. 2014年度研究部活動計画（案）及び予算（案）について

資料1-1 2014年度研究部活動計画（案）及び、資料1-2 2014年度研究部予算（案）に基づき説明がされた。

3. 2014年度研究分科会の活動計画及び予算案について

資料2 2014年度研究分科会活動計画書及び、資料3 2014年度研究分科会予算計画書に基づき、研究分科会代表者より説明がされた。

4. 特別助成金について

資料4 特別助成金申請書に基づき、研究分科会代表者より説明がされた。

運営委員会で、雑費の内容により特別助成金で申請すべきではないものがあるのではないかと、申請額算出根拠が曖昧なものがあるのではとの意見がでたことが報告さ

れ今後マニュアルの記載内容とあわせて検討することとした。

分科会代表者からは、特別助成金の申請時期についての質問があり、必要となったときに申請することができるが、申請から助成金の交付には時間がかかることがあるとの回答がなされた。

5. 2014年度研究会（交流会）について

資料5 2014年度研究会（交流会）開催計画（案）に基づき説明がされた。

参加者に（ ）付きで研究分科会会員、研究部役員との記載があったが、一般参加者も募るためその記載を削除することとした。また講演会講師について候補者を6月末までに事務局に連絡してもらうこととした。

6. 研究分科会マニュアル2014年度版について

資料6 研究分科会マニュアル2014年度版が示された。

7. 分科会関連業務の分担について

資料7 分科会関連業務の分担については更新担当理事校と月例会担当理事校の業務に訂正があったため、訂正後メールで配付することとした。

業務分担にある統合について、マニュアルに記載がないため、次回改訂にむけて加筆することとした。

月例会担当より、分科会へ活動報告の締切を月末から25日にしたいとの提案があり了承された。今後申し合わせを改訂することとした。

8. 協会ホームページについて

資料8-1 WWW 情報資源提供サービス申請手順及び、資料8-2 私立大学図書館協会 WWW 情報資源提供サービス利用申請書が示された。

また Web での申請も可能となったことが報告された。

9. 2014年度私立大学図書館協会スケジュールについて

資料7 2014年度私立大学図書館協会スケジュールが示された。

10. 運営上の諸問題について

事前提出が無かったとの報告があった。

口頭で分科会代表者より会費の管理について他分科会の状況が質問され、現状が報告された。

11. その他

・研究分科会代表者名簿について

資料10 2014年度研究分科会代表者名簿について、修正したものを後日メールにて配付することとする。

・フリートーキング

- ・研究分科会申し合わせの「複数の大学に所属する若干名」について
- ・メーリングリスト会員及び会員区分について
- ・募集時期、回数の見直しについて（研修分科会と同様とする）

・その他

フリートーキングでの提言・課題については今後検討していくこととした。

以上、議事を全て終了し、閉会した。